

Tiny Bakery



GOOD DESIGN
AWARD 2020

BEST
100



小さなパン屋を中心としたいわば世界で一番小さな複合商業施設とも言えるような小さな店舗。「トイット」とはフランス語で屋根を意味するtoit(トワ)から発想した造語であり、その大きな屋根の下に地元のコーヒーショップ、花屋などのお店も日替わりで立ち並ぶ。新しい分譲地の入口で住民の毎日の生活に溶け込み街のインフラとして活躍中。

DESIGN POINT 1

大きな屋根を持つ、世界で一番小さな複合商業施設。
ベーカリー+○○○で街のインフラとなった。

C:東側



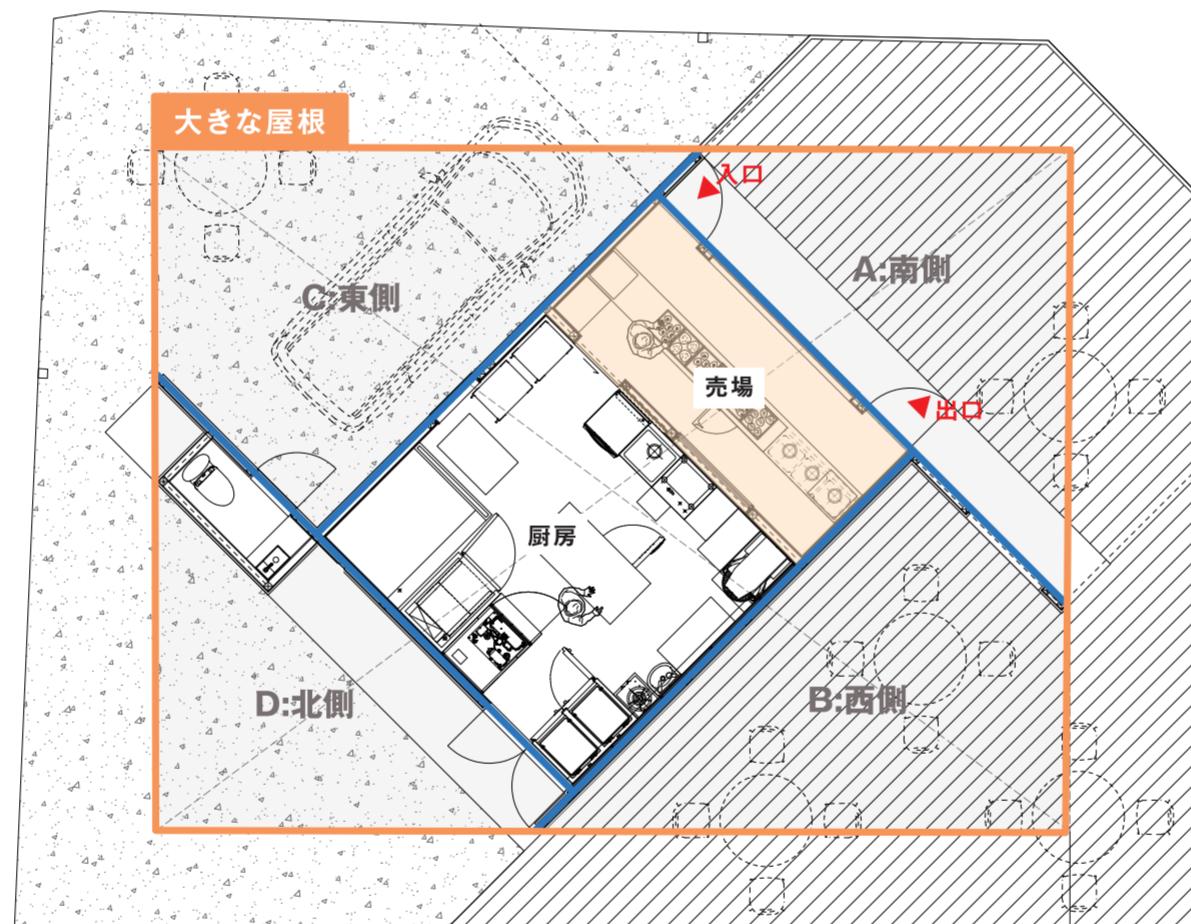
前面道路との段差が無く、
キッチンカー等もアクセスしやすい位置。
屋外から使えるトイレも併設。

DESIGN POINT 2

屋根と壁の角度を45度ずらすことにより、多様な半屋外スペース(軒下)を生み出した。

D:北側

裏動線スペースとして搬入口や備品置場、
スタッフ休憩スペースとなっている。



DESIGN POINT 3

街自体を開発した地域のデベロッパーによる経営。地域のコミュニケーション活性化の呼び水となっている。

A:南側



店舗入口前のウッドデッキスペース。

B:西側



店舗の動線から外れた落ち着けるイートインスペース。
敷地外道路にも接しており、街の外にも賑わいが溢れている。



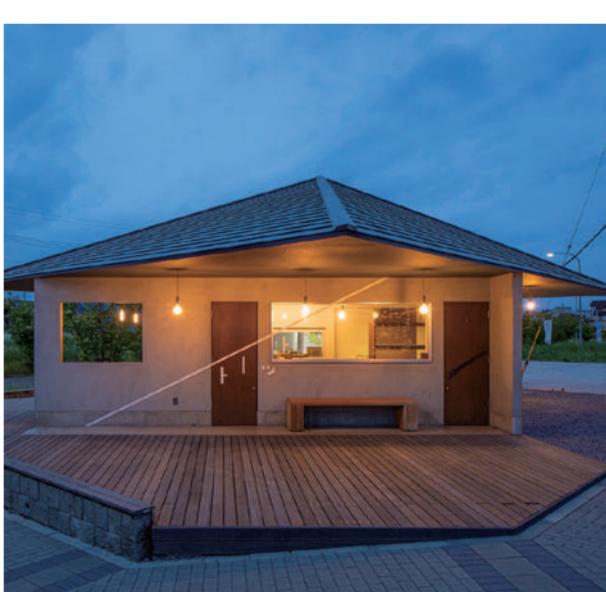
広い軒下スペース。



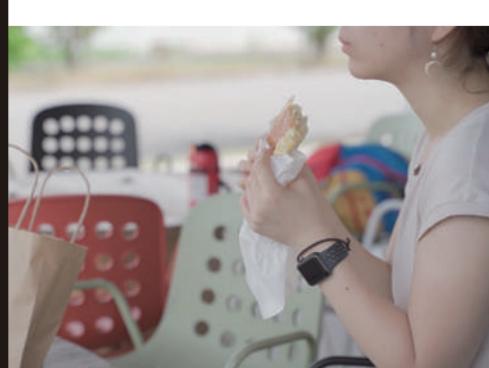
空間を緩やかに区切る開口部。その向こうに隣地の緑を望む。



店内の売場は最小限に。



オリジナルのペンダント照明。



可動式のコーヒーショップや花屋など季節や時間によって街のニーズを反映した業態の店舗も集うことが出来る。それは休日に特別に出掛ける日本型のマルシェとは意味合いが違う、パン(主食)を買う、食べるという毎日の日常で接するお店である。それを中心に、時折出会う生活を彩る花や雑貨などは生活のアクセントとなりえるだろう。

